

「むかしむかし、山間の静かな村に、山賊が下りてきました」

明治26年。

「日本昔話」の出版を控えていた作家の巖谷小波は友人の尾崎紅葉と「桃太郎」のルーツを探っていた。

辿り着いた山村で見つけた「桃太郎」は

彼らが知る「桃太郎」とはまったく違うものだった。

民族学博物館学芸員の公田は

高知県の老舗旅館にいた。

視聴者の依頼に答えるバラエティ番組の

ロケで連れて来られたのだ。

この旅館に代々受け継がれた

「鬼の角」を調べるために。

室町時代。

金工職人の村に生まれた猿次郎は町へ出て

お伽草子の作家になる夢をもっていた。

しかし、親から村を出ることを許されていなかった。

ある日、猿次郎は禁を破り親友の雉彦と村を出た。

室町〜明治〜現代 3つの時代を巡る、桃太郎と鬼の、その後の物語。

The Stone Age ヘンドリックス 戯曲落語会

桃 と 鬼

脚本・演出 朝田大輝

一人
劇プランニングエッグ

上田裕之
イズム

徳永健治

&

The Stone Age

戯曲落語会とは...

「演劇の台本。また、その形式で書かれた文学作品」である戯曲を、俳優が落語式に上演する会。

[日時] 2018年5月11日(金)~13日(日)

5月11日(金) 19:30

12日(土) 15:00 / 19:00

13日(日) 12:00 / 16:00

受付・開場は開演の30分前。上演時間は70分予定。

[会場] 千日亭

大阪市中央区千日前1-7-11 上方ビル3階

TEL 06-6211-2506

◎地下鉄「なんば」「日本橋」駅下車
なんばウォークB20出口から徒歩2分。



[料金] 前売 2,000円 当日 2,300円 学生 1,000円(要学生証)

[予約] <http://stoneage.yamagomori.com> (劇団WEB予約) the_stoneage@yahoo.co.jp (劇団メール予約) TEL 06-6211-2506 (劇場電話予約)
「劇団 ストーンエイジ」で、検索してください。 お名前・日時・枚数・券種・電話番号を明記してください。



The Stone Age は「劇団」です。

@the_stoneage

the_stoneage@yahoo.co.jp

1998年夏旗揚げ。「笑い」とドラマの奇跡の融合」を目指し一幕で展開するオモロい作品を上演。

2010年より、朝田大輝の作・演出による「The Stone Ageヘンドリックス」を開始。駅のホーム、ゾンビが暮らす山村お通夜、天狗が見守る町、結婚式前夜、13回忌、港町、複合商業施設の休憩室などを舞台に「笑って笑ってグッときて笑って終わる人情喜劇」を追求。

2013年春、東京大阪2都市2作品公演(全21ステージ)で1175名を動員。

2015年秋「第6回したまち演劇祭in台東」参加。

劇団ストーンエイジ 検索